

## 万博×環境 未来を描こうプロジェクト報告会 概要報告

- [主催] 大阪府、豊かな環境づくり大阪府民会議  
[日時] 2022年2月21日(月) 16時30分～17時30分  
[会場] オンライン会議システムによる開催  
[参加者] ○ファシリテーター World Seed 代表理事 岡見厚志  
○若者発表メンバー  
橋本碧、森成諒、古市優衣  
○参加者・参加団体  
豊かな環境づくり大阪府民会議運営委員会委員・会員
- [概要] 大阪府及び豊かな環境づくり大阪府民会議では、2025年大阪・関西万博に向け、多くの若者(高校生・大学生等)から、実現して欲しい環境・まちづくり等の様々なアイデアを集約して発信する「万博×環境 未来を描こうプロジェクト」を令和元年度に立ち上げ、今年度も、アイデアの実現や企業等と連携した事業化をめざして、取組みを進めているところです。  
それらアイデアの実現に向け、令和3年度の検討概要(アイデア)を関係者に広く発表する、「万博×環境 未来を描こうプロジェクト」報告会を、オンラインにて開催いたしました。
- [次第]・趣旨説明(大阪府)  
・令和3年度の検討メンバーからの提言アイデア発表、及び企業関係者等からのコメント  
・豊かな環境づくり大阪府民会議会員等との意見交換、質疑応答  
・閉会

---

### 1. 提言アイデア発表

---

「万博におけるプラスチック削減のための取組み」 発表者：3R班 橋本碧

「SDGs GAME アイデア」 発表者：SDGs GAME班 森成諒

「今年度の防災活動および今後の予定について」 発表者：防災班 古市優衣

各検討グループの発表資料は[こちら](#)に掲載。

---

### 2. 発表アイデアに対するコメント

---

各検討グループのアイデア発表について、次のとおり、豊かな環境づくり大阪府民会議会員等からコメントをいただきました。

「3R班」

- ・既存のマイボトルのデメリットとしてよく言われるのが、持ち運びが面倒という点。万博会場で、借りて返せる仕組みなら、家から持ってくる必要がないのでメリットになる。
- ・スターバックスで取り組んでいる「Re&Go」の仕組みはヒントになるかもしれない。
- ・一般的に、異なった会社と同じタンブラーを使うシステムを導入することは課題が多いが、万博というクローズドなところなら可能性は高いだろう。

## 「SDGs GAME 班」

- ・現地でのパビリオンだけでなく、多くの人に参加してもらうよう携帯アプリを活用してはどうか。
- ・対戦ゲームをとおして国際交流ができる等、色々な仕掛けを検討してみてはどうか。
- ・より具体化を図る上で、博覧会協会で実施している **Team Expo** に登録しているゲーム会社などから意見をいただいてはどうか。

## 「防災班」

- ・府内自治体では、賞味期限が近くなった大量の非常食を生活協同組合と連携して譲渡している。
- ・自治体で管理している賞味期限が迫った非常食は、子ども食堂やシングルマザーの支援団体などに無償提供する等活用している例もある。
- ・受け入れ先（学校）への働きかけをどうするか等の問題はあるが、小学校の家庭科で災害時の食を扱った授業を開発してみてはどうか。
- ・防災クッキング教室との連携を検討してはどうか。
- ・アウトドアで自然に親しみながら非常食も楽しもうというアプローチも面白いのではないか。
- ・防災キャンプといった、子ども達で作る防災食の研究などを検討してはどうか。